**Online materials**

**AMSTAR：A MeaSurement Tool to Assess Reviews**

（システマティックレビューの方法論的な質を評価するツール）

「診療ガイドラインのためのGRADEシステム（第2版）」（相原、凸版メディア、2015年出版予定）のオンライン追加資料です。<http://www.grade-jpn.com/online_supplementals/online_supplemental_materials.html>

* 詳細は書籍の**4.4.1章**を参照ください。
* 本資料のファイル名：amstar\_checklist-j.docx　（相原守夫、2008年6月作成）

|  |  |
| --- | --- |
| **項目** | **評価** |
| 1. **“アプリオリ”デザインは提供されているか。**   レビューを実施する前に研究課題および組み入れ基準が設定されている必要がある。 | □はい  □いいえ  □なんともいえない  □該当なし |
| 1. **研究の選択およびデータの抽出は二重に行われたか。**   少なくとも2名の独立したデータ抽出担当者が必要で、意見の不一致があった場合の合意到達手順についての報告がなされている必要がある。 | □はい  □いいえ  □なんともいえない  □該当なし |
| 1. **包括的な文献検索が行われたか。**   少なくとも 2つの電子情報源が検索されている必要がある。報告には必ず年およびデータベース（Central、EMBASE、MEDLINE など）が含まれていなければならない。必ずキーワードまたは MESHターム（またはその両方）が明記され、可能な場合は、検索手法について説明されている必要がある。現在の状況、レビュー、教科書、専門データベースを調べたり、ある特定の研究分野の専門家の意見を聞いたり、さらには検索した文献に掲載された参考文献を参照するなどして、検索結果の確認が行われている必要がある。 | □はい  □いいえ  □なんともいえない  □該当なし |
| 1. **出版ステータス（灰色文献である、など）を除外基準として使用したか。**   出版形式にとらわれず報告の検索を実施したことが明記されていなければならない。出版ステータスを基準として報告を除外しなかったかどうか（システマティックレビューなどからの除外）が明記されている必要がある。 | □はい  □いいえ  □なんともいえない  □該当なし |
| 1. **研究のリスト（組み込まれたものも除外されたものも含む）が提供されているか。**   組み込まれた研究および除外された研究のリストが提供されている必要がある。 | □はい  □いいえ  □なんともいえない  □該当なし |
| 1. **組み込まれた研究の特徴について説明しているか。**   原著から得られた被験者、介入およびアウトカムについてのデータが集計され、表などの形式で提示されている必要がある。分析対象となった全研究に関わる一連の特徴（例: 年齢、人種、性別、関連する社会経済的データ、疾患状態、期間、重度、またはその他の疾患）が示されていなければならない。 | □はい  □いいえ  □なんともいえない  □該当なし |
| 1. **組み込まれた研究の科学的な質が評価、報告されているか。**   “アプリオリ” 法による評価手法について報告されていなければならない（例: 効果に関する研究の場合、ランダム化および二重盲検化され、プラセボを用いた比較試験のみが組み込まれている場合、または割り付けの隠蔽が組み入れ基準となっている場合など）。効果に関する研究以外の研究の場合は、関連する項目が変わってくる。 | □はい  □いいえ  □なんともいえない  □該当なし |
| 1. **組み込まれた研究の科学的な質を適切に活用して結論がまとめられているか。**   分析およびレビューの結論においては、方法の厳密性および科学的質の成果が考慮され、推奨の策定においてはこれついて明示的に述べられている必要がある。 | □はい  □いいえ  □なんともいえない  □該当なし |
| 1. **研究結果を統合するために用いられた手法は適切か。**   統合された結果の場合、研究の統合可能性を確認し、異質性を評価するためのテストが実施されていなければならない（異質性確認のためのカイ 2乗検定など）。異質性があった場合は、変量効果モデルの使用、または研究の統合が臨床的に適切といえるかどうかの検討が必要となる（統合は賢明か）。 | □はい  □いいえ  □なんともいえない  □該当なし |
| 1. **出版バイアスの可能性は評価されているか。**   出版バイアスの評価においては、グラフによる補足（例: ファンネル・プロット）と統計的検定（例: エッガー回帰テスト）とが組み合わせて示されている必要がある。 | □はい  □いいえ  □なんともいえない  □該当なし |
| 1. **利益相反について明記しているか。**   システマティックレビューおよび組み込まれた各研究の双方において、支援があったと考えられる機関が明確になっていなければならない。 | □はい  □いいえ  □なんともいえない  □該当なし |

Development of AMSTAR: a measurement tool to assess the methodological quality of systematic reviews

BMC Medical Research Methodology 2007, 7:10 doi:10.1186/1471-2288-7-10

**評価**：　“はい“を1点、その他を０点として合計点を算出する

**・８～１１点：　high quality**

**・４～７点： medium quality**

**・０～３点： low quality**

注：その後、AMSTARの改訂版（R-AMSTAR）が報告されているが、ツールの改善には至っていないという指摘がある。